

WAKUWAKU通信

2021
Vol.9



「総額、14万4500円の寄附が集まりました」

3月8日(月)～3月14日(日)の1週間限定で、京都発のチャリティー専門ファッションブランド『JAMMIN(ジャミン)』とコラボし、オリジナルデザインのチャリティー付きアイテムを制作しました。

今回のコラボアイテムを購入すると、1アイテム購入するごとに700円がWAKUWAKUにチャリティーされ、小学校入学を控えた子どものいる生活困窮世帯に対して1万円の入学応援給付金を届けるための資金となりました。



特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

発行日:2021年5月 発行者:特定非営利活動法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク 〒171-0014 東京都豊島区池袋三丁目52番21号

WEB:<http://toshimawakuwaku.com/> TEL:050-5526-1229 Mail:info@toshimawakuwaku.com/

これまでに開催した「としまフードサポートプロジェクト」について

新型コロナウイルス感染症が原因で生活が苦しくなっているひとり親世帯や外国ルーツの子育て世帯などへ、食料品や日用品などを複数の方法でお渡しする「としまフードサポートプロジェクト」。

昨年は豊島区からの委託を受けて、2回のナイス!ライス!プロジェクトをおこない、それまでつながっていなかったひとり親家庭へアウトリーチすることができました。

コロナ禍の中、顔と顔を合わせる機会を大切にしてきたフードサポートでしたが、2021年1月は感染者が2000人を超す状況となり、全て宅配で実施しました。596世帯へのお米5キロほかさまざまなものを届けました。

2月、3月、4月には、通常通り各拠点での配布を行いました。



2月は301世帯、3月には、春休みに備えて給食がなくてももしっかりごはんが食べられるように、レトルト等充実をさせて533世帯、4月には477世帯に配布致しました。梱包・発送作業は、コロナの影響で仕事を失ったママ達が大活躍してくれました。

次回以降も、毎月1回のペースで継続的に行っていく予定です。

(たくさんの企業様からも食材のご寄附等頂いております。随時HPにて報告していきますので、是非ご覧ください)

主催：TOSHIMA TABLE(目白聖公会、NPO法人豊島WAKUWAKUネットワーク、放課後寺子屋、ミラクル) 豊島区の子育て支援団体および行政、豊島区民社会福祉協議会、企業などによる食を通じて地域の子どもを支えるグループです。協賛：豊島区

助成：キャピタルグループ(新型コロナウイルス関連サポート基金、(株)東京スター銀行(東京スター子ども応援プロジェクト)、ウェルシー財団(新型コロナウイルス感染拡大による特別支援金)、赤い羽根(新型コロナウイルス感染下の福祉活動応援キャンペーン フードバンク活動等応援助成事業)

2月7日「子ども食堂サミット 2021年」を開催しました

今年は、オンラインでの開催となったこども食堂サミットですが、総勢200名以上の参加者が集まり、画面越しではございますが、皆様からの熱い思いが伝わる有意義なイベントとなりました。

第1部は、「コロナのなかでのこども食堂の開き方」ということで、医師の藤岡雅司先生によるコロナのなかでこども食堂を開く際に注意することをお伺いしました。相談した運営者の方たちからは、「目からウロコ」との感想もたくさんいただいています。また、参加するみなさんの質問にもたっぷりとお答えいただきました。

第2部は、毎年恒例となっている、全国のこども食堂リレートークが行われ、「コロナのなかのこども食堂」ということをテーマに、全国のこども食堂運営者が、コロナ禍での活動について報告して頂きました。また、こども食堂でのハラスメント対策について、急遽問題提起をお願いしました。

【第2部】全国の子ども食堂リレートーク「コロナ禍のこども食堂活動報告」

・園田愛美さん(森の玉里子ども食堂・鹿児島県)、山本啓一郎さん(なわて子ども食堂・大阪府)、対馬あさみさん(NPO法人 太陽の家・三重県) 南澤かおりさん(こどもの居場所作り@府中・東京都)

【コロナ禍のこども食堂が果たしたこと】 湯浅誠さん(NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ)

【こども食堂のハラスメント対策について】 門間尚子さん(せんだいこども食堂・宮城県)

【全体のまとめ】 栗林知絵子さん(NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク)



主催：NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク、こども食堂ネットワーク

協力：東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野中邑・近藤研究室 協賛：豊島区

1月11日「子どもを通してつながるまちに」をオンライン開催しました

虐待や貧困など、さまざまな困難を抱える子どもたち。子どもを真ん中に、地域がつながり、すべての子どもが安心して暮らせる街にするため、「子どもを通してつながるまちに」というテーマのもと、4名のパネリストそれぞれの視点から発表していただきました。当初は、会場参加も可能としてありましたが、緊急事態宣言が発令されたためオンラインのみの開催となりました。当日は、150名以上の視聴者が集まり、1週間限定で公開していた動画の視聴者数が最終的には600名以上の方に観て頂くこととなりました。

※動画は、現在公開されていますので、「子どもを通してつながるまちに WAKUWAKU」と検索いただき、ぜひご覧ください。



【パネリスト】

「地域より」天野敬子さん(NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク事務局長/『WAKUWAKUホーム』管理人/精神保健福祉士)
「里親より」安藤まきさん(NPO法人特別養子縁組支援グミの会サポート理事長/東京都養育里親・専門里親/豊島区ショートステイ協力家庭)
「施設より」早川悟司さん(児童養護施設「子供の家」施設長/社会福祉士)
「行政より」山本りかさん(豊島区子育て支援課長)
【ファンリテータ】西郷泰之さん(子ども家庭福祉研究・研修機構長)

1月24日『空き家を利用して町中に「子ども部屋」を増やしませんか?』をオンライン開催しました

豊島区の中で、単身で子育て中のご家庭より「すまい」についてご相談を受けることが増加しています。子どもの成長に伴い、思春期や勉強の用途で「子ども部屋」が必要となっているにも関わらず、高家賃によりそれが叶わず、子どもの健康な育ちが阻害されている現状があります。

一方、豊島区内の空き家は増加。今までもWAKUWAKUのもとに「空き家を子ども達のために活用してほしい」とご連絡をいただき、マッチングをおこなった実績があります。

このイベントでは、WAKUWAKUの住まい支援の状況の報告と、現在まで空き家を活用していただいた方にもご発言していただき、区民で「空き家を活用した子育て支援」を進めていく機会の場として開催いたしました。

認定NPO法人Living in Peaceよりお預かりした「移民・難民の子ども達の命を守る基金」を手渡しました!

子ども食堂でつながっている団体からのご紹介で、認定NPO法人Living in Peaceが実施する「移民・難民の子ども達のいのちを守る基金」を知りました。豊島区で暮らすミャンマー、トルコ、中国、ネパールの子育て家庭にヒアリングをし、WAKUWAKUから基金を申請し、3月にイケサンパークや池袋第二区民ひろばに集ってもらい手渡ししました。豊島区民社会福祉協議会コミュニティソーシャルワーカーにも来て貰い、保険料の減額や免除申請・給付制度・貸し付け制度などの丁寧な説明をしてもらいました。



基金があったおかげで「お話を聞かせてもらえませんか」と、私たちからのアウトリーチのきっかけを作ることが出来ました。コロナ禍で家計の厳しさが増している中、この基金のおかげでとても助かったご家庭がたくさんあったこと、感謝の気持ちでいっぱいです。これからまた、新たなコミュニティが生まれたりいいと思っています。

入学応援給付金を配布致しました

2020年度も引き続き、入学応援給付金を実施しました。56名に高校入学お祝い金をお渡しし、小中学校入学お祝い金を29名にお渡ししました。直接対面し、ヒアリング後にお渡ししていますが、昨年度同様、コロナの影響で生活に困窮しているご家庭が多いことが分かりました。昨年度から開始したWAKUWAKUすまいサポートやとしまフードサポート等をご案内しました。WAKUWAKUに気軽に相談できる関係をつくっていきたいと思っています。

※給付金の一部は、特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン「WV」新型コロナウイルス対策子ども支援事業 子ども支援団体への活動助成金」を得て実施しました。

寄附・賛助会員でのご支援よろしくお願いします。

「ゆうちょ銀行からお振込の場合」

【口座番号】00170-5-728808 【加入者名】豊島子どもWAKUWAKUネットワーク

「ゆうちょ銀行以外からお振込の場合」

【店名】〇一八(読み ゼロイチハチ) 【店番】018 【預金種目】普通預金 【口座番号】5639629

ご寄附・賛助会員でお振込みされた方は、メンバーリストに加入致します。

ご希望のかたは、QRコードまたは、<https://toshimawakuwaku.com/support/> よりご確認ください。

クレジットカードでのご寄附・賛助会員費のお支払いも可能です。今回のみのご寄附から月単位での継続したものまでご利用いただくことが可能です。

詳細は、WAKUWAKUのサイトまたは、上記QRコードよりご確認ください。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

